



三月

玉川ホーム園長 猪腰 久子

東京で桜の開花宣言が発表されたニュースが流れていましたが、南棟への渡り廊下から見えるソメイヨシノのつぼみも、日に日に膨らみがまして春の訪れを実感しております。

今年度も残すところわずかになりました。日頃から利用者の皆様、ご家族の皆様、地域の皆様に心温まるご支援ご協力をいただき感謝申し上げます。平成28年度も利用者の立場に立って、皆様が居心地のよい生活を送っていただけるよう、職員一同しっかりとお手伝いさせていただきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いたします。



## 春を感じる ひな祭り 茶話会



3月3日木曜日、ひな祭り茶話会を行いました。甘酒とひなあられを味わい、皆さんから「もうすぐ春だね～」という声が聞かれました。「雛人形はきれいだね」としみじみ眺める方、「うれしいひなまつり」を歌う方もおり、楽しいひとときを過ごしました。

当日の昼食は、春を感じる食材を使用したひな祭りお祝い膳で、皆さん舌鼓をうたれていました。



ひな人形の前で



甘酒おいしいね！



甘～い  
ひなケーキ

### ひな祭りメニュー

- ・ひなまつりちらし寿司
- ・ふきの煮物
- ・すまし汁
- ・ひなケーキ



ひなあられもおいしいよ！

## 4月の予定

- 6日・20日(水) 生花クラブ
- 13日(水) 誕生会
- 13日(水) お花見
- 21日(木) カフェたまがわ  
オープン
- 毎週木曜日 書道クラブ



## 平成27年度 法人全体研究発表会

2月29日月曜日、法人全体研究発表会が開催しました。事業所の部、個人の部の発表等があり、147人の職員が参加し、熱心に聞き入っていました。



発表する職員



多数の参加職員

## 編集後記

3月、4月は出会いと別れの季節です。転居などにより連絡先(住所や電話番号)に変更があった場合は、お手数でもご連絡くださいますようお願いいたします。

(Y・K)

研究発表(玉川ホーム)  
演題Ⅰ 「水分提供における現状と課題」  
演題Ⅱ 「若年性アルツハイマー型認知症を考える」  
個人演題Ⅰ 「褥瘡改善へ向けた取組み」

# 平成27年度を振り返って



## 各所属

中央棟介護職 介護長 原 春美

利用者の皆様が快適で安心した生活が送れるよう、レクリエーション活動やケア技術の向上に取り組んでまいりました。来年度も笑顔で安心した生活が送れるようサービスの向上に努めてまいります。

南棟介護職 介護長 國分 艶子

利用者の皆様が楽しく生活できるよう、レクリエーション活動や音楽体操に取り組んでまいりました。今後も技術の向上に努めてまいります。

医務職 看護長心得 星 弘子

協力病院である太田熱海病院の病床数削減等に伴い、他の病院やクリニック等の受診も増えています。又、外来通院での治療形態の変化や入所基準の変更もあり、今後受診や入院が必要な利用者様が増加するのではないかと思っております。医療が必要になった場合どのような選択をするか、家族の皆様で話し合ってもらえればと思います。

機能訓練職 機能訓練指導員 水上 輝彦

今年度も利用者の皆様の状態や希望に応じた訓練計画を立案し実施することが出来ました。今後も皆様とコミュニケーションを図りながら訓練を実施してまいります。

栄養・調理職 主任栄養士 神場 成子

季節毎の行事に合わせ、これからも旬の食材を使った食事を提供してまいります。

生活相談員職 主任生活相談員 中越 友勝

利用者の皆様の相談援助やご家族への連絡対応等を「ていねいに」を心掛けて行ってきました。今後も利用者の皆様やご家族の希望に添えるよう相談員一同サービスの向上に努めてまいります。

事務職 事務員 安田 道

各部署と連携し、施設の環境整備に努めることができました。今後も利用者の皆様が安全で安心した生活を送れる施設づくりに努めてまいります。

## 委員会等



食事サービス委員会 委員長 神場 成子

利用者の皆様の希望を聞き笑顔で参加できるような選択献立とバイキング食、外注食を計画し提供することができました。特に外注食は大変好評で多くの利用者の皆様に参加していただきました。

ケアサービス委員会 委員長 原田 あき子

利用者の皆様、ご家族の皆様の意向確認を行ないケアプランを作成することが出来ました。今後も多職種協働のもと皆様の意向を反映したケアプランを作成してまいります。

研修委員会 委員長 高橋 愛美

内部研修の実施や外部研修への参加を計画通り実施することができました。今後も知識の習得と技術の向上を目指し、利用者の皆様により良い介護サービスを提供できるよう努めてまいります。

リスクマネジメント委員会 委員長 宗像あゆみ

利用者の皆様に安全に生活していただけるよう、職員のリスクに対する意識の向上と情報の共有を図ることを目標に取り組んで参りました。今後も利用者の皆様に安全に安心して生活していただけるよう職員一人ひとりの危機意識を高め取り組んでまいります。

褥瘡・排泄委員会 委員長 久下友紀江

紙オムツの基本的なあて方や、個人の状態に合わせたあて方について、園内研修の実施や定期的な排泄ケアの見直しを行い、利用者一人ひとりにあった排泄ケアができました。また、褥瘡ゼロには至りませんでした。適切な体位変換、枕使用の徹底と定期的な見直しや他職種との連携をとりながら改善に向け対応する事ができました。

感染症対策委員会 委員長 星 弘子

今年度の目標は、「感染症の情報を共有し、発生拡大を予防する」でした。感染症発生時には手洗い、うがい、マスク着用の徹底とご家族の面会制限等、早急な対応により拡大を防ぐ事が出来ました。ご家族の皆様のご協力に感謝申し上げます。

ぬくもりケア研究会 委員長 原 春美

今年度は夜眠れない方や不安がある方だけでなく利用者の皆様の誕生日に「ぬくもりケア」を実践した事で多くの皆様に喜んでいただく事ができました。引き続き、手と手がふれあう「ぬくもりケア」を行い、皆様が安心して生活を送れるよう努めてまいります。また、感謝祭2015では、来場されたご家族、地域住民の皆様の前で「ぬくもりケア」を実演し、「ぬくもりケア」の効果についてご理解いただいた事は年度目標以上の成果を上げる事ができました。

行事委員会 委員長 佐藤 有花

行事委員会では「利用者の方に喜びや楽しみを感じていただくため、季節感のある行事とドライブを企画し実施する」を目標に取り組んでまいりました。多くの方に参加していただき、たくさんの笑顔と「ありがとう」の言葉をいただく事ができました。今後も皆様にとってホームでの生活がより楽しくなるような行事・ドライブ等を企画してまいります。

